

雑がみはリサイクルできる資源です！

○ 秋田市の家庭ごみの中身の15%が紙類です。

右のグラフは平成21年度の1年間に出された秋田市の家庭ごみの中身です。

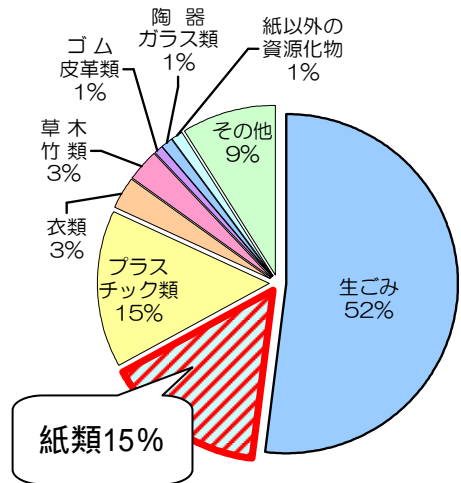
家庭ごみの重さの平均15%が紙類です。

実は、この紙類のうちの約80%が「雑がみ」と呼ばれるもので、正しく分別することでリサイクルできます。

分別すれば資源に生まれ変わる雑がみをごみとして処分してしまうのはもったいない！

そこで、集団回収に取り組んでいる団体のみなさんに、雑がみの分別方法をご紹介します。

平成21年度秋田市家庭ごみ組成調査より



○ 秋田市の古紙類の分別

以下の4種類に分かれます。回収後にリサイクルされる紙の種類が異なりますので正しく分別しましょう。

- ◇新聞・広告チラシ → 新聞、雑誌、菓子箱、絵本などに再生
- ◇ダンボール → 菓子箱、絵本などに再生
- ◇紙パック → トイレットペーパー、ティッシュなどに再生
- ◇雑誌・雑がみ → ダンボール、紙筒などに再生

○ 雑がみとしてリサイクルできるもの



たとえば...

カタログ、教科書、菓子箱、封筒（セロハン等は外す）、はがき、名刺など

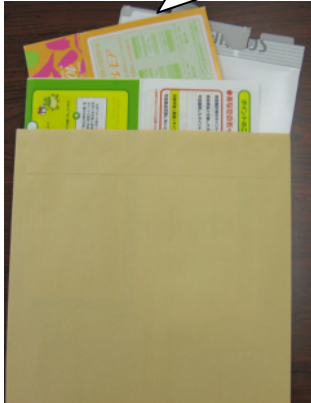
~~混ぜてはいけないもの~~

- × セロハン
- × 油紙
- × 裏カーボン紙
- × 写真
- × ビニールコート紙
- × 感熱紙（ファックス用紙）
- × 紙コップなどのワックス紙
- × 粘着テープ
- × 合成紙
- × ノンカーボン紙
- × 防水加工紙

○ 雑がみの出しかた

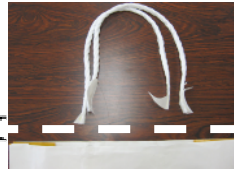
① 紙袋を活用する

茶封筒を活用！



紙袋を活用！

取っ手が
ビニールの
場合は外す



紙ひもでしばる！

② 雑誌の間にはさむ



雑誌にはさむ！



紙ひもでしばる！

雑がみを出すときの注意点

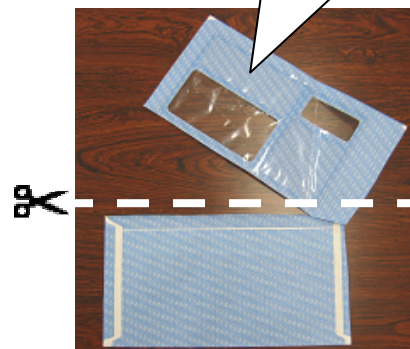
ビニールは古紙再生の大敵です。
しっかり外しましょう。



ビニールは
外す！

ティッシュの空き箱

ビニールのついた
部分は家庭ごみへ



窓付き封筒